

令和3年度第2回北杜市魅力発信検討委員会議事録

- 1 開催日時 令和3年10月21日(木)午前10時30分～正午
- 2 開催場所 北杜市役所西館 2 階会議室
- 3 出席委員 村田茂、三井一男、小澤建二、三井麻里子、小林昭治、原真樹子、小川節子、伊部袈裟晴
- 4 欠席委員 内田英一、浅川幸彦
- 5 事務局 秘書広報課 小澤永和、
広聴広報担当 坂口美穂、齊藤ゆか、鈴木友佳里
- 6 会議録署名 三井一男、小澤建二
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴人 なし
- 9 内容
(1)開会
(2)会長あいさつ
(3)議事

議事

議事1 情報発信に係る取り組みについて「週刊ほくとニュース」

- 【委員】前回出た意見が反映されて有難い。取材可能なイベントが少なく、番組制作の苦勞が伺える。時間を埋めるための放送になってしまっている印象を受ける。新コーナー「ほくと文化財めぐり」は良いと思う。工夫して番組制作を行ってほしい。令和4年度から放送回数が減る場合は、YouTubeへ誘導するなど周知をしっかりとやるべき。
- 【委員】新コーナー「テレビ発表会」は良い企画だと思う。新型コロナウイルス感染症の影響で保育園や学校での行事に保護者が参加できないので、週刊ほくとニュースで取材してほしい。
- 【委員】コロナ禍で運動会を見に行けない保護者もいたので、番組で取り上げていて良かった。令和4年度から放送時間に変更になる場合は、周知を広く行ってほしい。
- 【委員】令和4年度の週刊ほくとニュースについて、番組制作費・放送料の比率と内訳を勘案しながら上手に構成を考えて行ってほしい。番組構成はどのように変わるのか。また、何を取材するのか。
- 【事務局】現在は24分に5つの項目を放送している。令和4年度からは15分に3つの項目で検討している。番組内容は、日本ネットワークサービスの情報番組とのすみ分けも考慮し、次回の検討委員会で提案したい。

- 【委員】スマートフォンや PC で情報を得られない高齢者に番組表を周知する方法も考えてほしい。
- 【委員】周りにはCATVを見られない人が多いので、放送時間短縮と放送回数削減には賛成。YouTube へ移行していくのは必然の流れではないか。県外の知人は YouTube で週刊ほくとニュースを見ている。
- 【委員】取材の裏側などを YouTube で配信してはどうか。
- 【委員】放送回数は多いほうがいい。過去の番組のアーカイブを放送するなど、制作費を抑えられないか。
- 【事務局】これまで積極的な情報発信を検討していただいており、放送回数や時間を減らすことは申し訳ない。日本ネットワークサービスで新番組が始まり、YouTube の活用も考え縮小するが、内容は充実させていく。次回、番組内容について相談したい。

議事2 情報発信に係る取り組みについて「広報ほくと」

- 【委員】ページは増減できるのか。
- 【事務局】予算の範囲内で調整できる。
- 【委員】回覧板が月1回になるなど、催しをお知らせする機会が減っている。住民から発信される情報もページ数を調整しながら検討してほしい。
- 【委員】紙面に限りがあるが、写真を使うなど、文章の作り方などを工夫して情報を発信してほしい。
- 【委員】取り上げた題材だけでなく、そこに関わる歴史なども広がりをもって伝えてほしい。
- 【委員】紙面はとても充実してきている。広報ほくとは「世代間をつなぐ媒体」になってほしい。
- 【事務局】ご意見をもとによりよい広報ほくとを目指していく。

議事3 情報発信に係る取り組みについて「北杜市ホームページ」

- 【委員】時代の流れとして、LINE で情報を伝えられるのは良いと思う。
- 【委員】LINE でごみの分別の検索ができるのは便利である。子育ての分野にも、派生していつてもらえればと思う。
- 【委員】WiFi の整備もお願いしたい。いざというときの防災にもつながる。
- 【委員】LINE で「週刊ほくとニュース」が見られるのか。
- 【事務局】これまで CATV が見られなかった世帯の方にも、スマホさえあれば「週刊ほくとニュース」を見ていただくことができる。広報や CATV とも連携して取り組んでいきたい。

以上、令和3年度第2回北杜市魅力発信検討委員会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名委員
